

池田町コミュニティ・スクール(CS)通信

《教育ビジョン 目指す子ども像》

- 学ぶ意欲を持ち、夢や目標の実現に向けて努力する子どもを育む <進取>
- ふるさとへの愛着と誇りを持ち、優しい気持ちで、ともに支え合いながら生きる子どもを育む <ふるさと> <共生>

- 7月8日(月)午後7時から西部地域コミュニティセンターで、各学校の学校運営協議会委員が一堂に会する今年度の「第1回池田町コミュニティ・スクール推進協議会」を開催しました。
- 池田町コミュニティ・スクール推進協議会は、各学校の学校運営協議会での熟議の内容やCSの取組状況に関する意見交換・情報共有等を目的として年2回程度開催することとしています。

- ✓ 第1回池田町コミュニティ・スクール推進協議会では、先進地である胆振管内の伊達市教育委員会教育部参与である櫻井貴志氏を講師に迎え、「部会等の熟議のあり方」をテーマに講話をいただきました。(以下は、講話資料の一部です。)

熟議(話し合い)により目標を共有

学校運営協議会における「熟議」

「熟議」・・・熟慮と議論を重ねながら、課題解決を目指す(構想を練る)対話

※熟慮と討議、説明、確認、検討だけではない

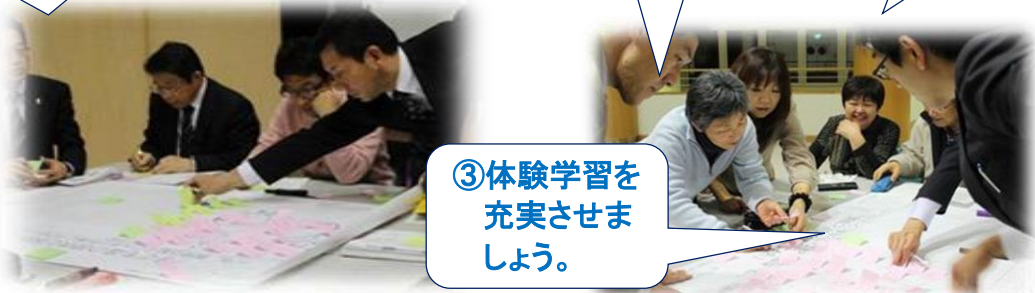
①体験を通して学ばせたい。

②学校だけじゃ見つけられない。

④地域の教育資源を活用しましょう。

⑤関係機関にそれぞれで働きかけましょう。

③体験学習を充実させましょう。



- ✓ 講話の後、各学校運営協議会での熟議等の内容について報告が行われました。
- ✓ また、子どもたちの学習への意欲を高めるため、基本的な生活習慣等の定着を目指し「学校運営協議会」と教育委員会が共同で発する各保護者あての啓発資料について協議を行い、夏休み前に配布することとしました。(裏面)

子どもたちの学習への意欲を高めるために ～ 基本的な生活習慣等の定着 ～

- 本年4月に実施された全国学力・学習状況調査については、まだ、全国的な集計は完了していませんが、これまで本町の児童生徒の平均正答率は調査対象教科の多くで全道及び管内平均を下回る傾向にあり、本年度も厳しい結果となることが予想されます。
 - * 全国学力・学習状況調査の対象教科：小学校6年生の国語・算数、
中学校3年生の国語・数学（H31は英語が追加）
 - * 平均正答率：問題数に対する児童生徒の正答数の平均
- こうした現状は、「身に付けることが望ましい個別の学習内容」が十分に定着していないということを示しています。
- 各学校では、毎年の調査結果を基に、すべての教職員による情報共有や共通認識を図り、課題解決のための授業の工夫などに取り組んでいますが、合わせて、ご家庭でも家庭学習の時間や読書の時間、ゲーム等をする時間を決めるなど基本的な生活習慣等を身に付けながら、子どもたちの学習への意欲を高める取組が大切と考えています。
- このため、家庭や地域の教育力を教育活動に活かす取組を推進するため、各学校に設けられた「学校運営協議会」と教育委員会が連名で、ご家庭での取組をお願いすることとしました。
 - * 学校運営協議会：保護者や地域の方で構成される組織で、設置された学校がコミュニティ・スクール
- 北海道教育委員会・北海道PTA連合会で作成した資料を添付しますので、参考にいただき、子どもたちの健やかな成長に向けたご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
 - * このCS通信では資料を省略しています。

令和元年7月

池田小学校学校運営協議会 高島小学校学校運営協議会
利別小学校学校運営協議会 池田中学校学校運営協議会
池田町教育委員会